

新会長就任あいさつ



会長 岡村 康秀

去る5月20日開催の定時総会におきまして、会員の皆様から会長にご選任いただき、大変光栄の至りであり、その重責に身の引き締まる思いであります。

本会の更なる発展はもとより、会員の皆様方のご期待に応えられるよう、会長としての責務を果たしてまいる所存です。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

昨今の建設業界を取り巻く状況は、ダンピングをはじめ、多様な総合評価方式の拡充、鋼材・燃料価格の高騰、団塊世代のリタイアによる2007年問題など、多面的な課題に対応できるよう、建設業は一所懸命改革に努めているところであります。

また、国外では、5月はじめに「ミャンマーのサイクロン」「中国四川省の大地震」が発生し、人々の暮らしに深刻な影響を与えていますが、地球温暖化がもたらす気候変動は、自然災害を増加・巨大化させると言われており、地球環境の更なる悪化が危惧されるところであります。

一方、我が国は世界一の超高齢社会を迎え、誰もが安心して生活できる社会基盤を着実に整備していくことが求められるなか、6月に「岩手・宮城内陸地震」が起これり、大きな被害をもたらしたことは、脆弱な国土のなかで暮らしていることを改めて認識させられたことと存じます。

土木技術者の皆様は、国民の生命と財産を守り、安全で快適な生活を支える社会基盤整備の直接の担い手であり、今後も重要な役割を果たしていくことに変わりはありません。

しかし、若年層の土木離れ、建設業離れの傾向が見て取れる現状をみますと、ものづくりに対する技術者の真摯な姿勢や技術開発、環境対策などに積極的に取り組む「建設業の真の姿」を多くの方々に知っていただくことが大切であると考えます。

建設業に対する理解を深めていただき、イメージアップや信頼回復、ひいては、土木の持つ魅力とやり甲斐を認識してもらえよう、会員の皆様のご協力のもと、「建設技術展示会」を実施します。

加えて、各種講習会や現場・施設見学会の開催など、土木技術者の技術力の維持・向上を支援する事業などに全力をあげて取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。